

キッピッピ

三田市立図書館

2023年

6月

ほん

あたらしい本がはいったよ

リサとガスパール オペラざへいく

アン・グットマン/文

ゲオルグ・ハレンスレーベン/絵 石津 ちひろ/訳

河出書房新社 2023年3月 Eハレ

がっこうのじゅぎょうで、オペラをみにいくことになった
リサとガスパール。ふたりは、すてきな^{うたごえ}歌声ときれいな^{かい}会
^{じょう}場にうっとり。きゅうけい^{じかん}時間、オーケストラ・ボックス
に入^{はい}ってオーケストラのひとたちのだいじながくふをとっ
てしまい、^{ぶたい}舞台はおおさわぎになります。いたずら^ず好きの
リサとガスパールのおはなしです。



プッチェットのぼうし

中脇 初枝/再話 アヤ井 アキコ/絵

あすなろ書房 2023年3月 Eアヤ



ある日^ひプッチェットは、すてきなぼうしをなくしてしま
います。ひろってくれたチョケットに^{かえ}返してもらおうとお
ねがいをすると、「パンをくれなきゃ、ぼうしはあげない」
と言われます。困^{こま}ったプッチェットは、パンを^か買^いに行くの
ですが…。さて、チョケットはぼうしを^{かえ}返してくれるでし
ょうか？くり返^{かえ}しが^{たの}楽しいイタリアのむかしばなしです。

《本館》 水の中をのぞいてみれば

あめ みず なか 水たまり、川、海… どんどんすがたをかえる「水」ってとってもふしぎ。そんな水の中であめがくらす生き物たちのようすをそっとのぞいてみましょう。



あまがえるのかくれんぼ

たての ひろし/作 かわしま はるこ/絵
世界文化社 2019年5月 Eカワ

いけのそばのくさむらで、ちいさな3びきのあまがえるのかくれんぼ。ところが、かくれているうちに、からだの色がいろみどりからくろっぽいへんな色にかわってしまい…。

《ウディタウン分館》 いろいろな天気をつたのしもう

あめがふったり、かぜがふいたり、いろいろな天気があるけれど、どんな天気もたのしみたらさいこうだね。天気のことをすきになるような本を集めてみました。

あめをよぶ龍 4年にいちどの雨ごい行事

秋山 とも子/文・絵 童心社 2009年5月 Eアキ

4年にいちど、おおきなりゅうがあらわれる町があります。どうしてりゅうがあらわれるのでしょうか。本を見て、町の人たちがりゅうをどのようにおもっているのかかんじてください。



《藍分室》 雨の日のおたのしみ

あめの日がすきじゃない人もお気に入りの話を集めました。雨の日はすきじゃない人もお気に入りの話を集めました。1さつがみつかるといいですね。父の日にはちなんでおとうさんのお話もありますよ。

あめはザーザー おなかはグーグー あまやどりのホットケーキ

尾崎 潤/作 教育画劇 2022年5月 Eオザ

おんなのこがこうえんで、あまやどりをしています。ザーザーふるあめをみつめていると、あめがくっついてひかりだし、なんとホットケーキになりました。このままあめがふりつづくとうなるのでしょうか。





ほん みつけたよ！こんな本



がっこうかっぱのおひっこし

山本 悦子／作 市居 みか／絵

童心社 2019年12月 Nヤマ



しょうがくいちねんせい 小学一年生のけいくんはろくがつになってもともだちがつかず、やすし
間は一人でがっこうのいけに行っています。いけのこうじがはじまるひ、け
いくんはいけのちいさなくわつに出会いました。くわつをいえにつれてかえ
ったつぎのひ、ねつを出したけいくんがおるすばんしていると…。
くわつとのであいがきっかけでけいくんのがっこうせいかつはどうかわって
いくのでしょうか。

わがし えほん わがし 和菓子の絵本 和菓子っておいしい！

平野 恵理子／作者

あすなる書房 2010年9月 38/10



がつにち わがし ひ 6月16日は和菓子の日。おまんじゅう、おだんご、おせんべいなど
たくさんの和菓子がしょうかいイラストつきで紹介されています。きせつご
とのわがしやざいりょう、どうぐ、つくかたかられきしまでし
ることができます。しきわがし たの 四季おりおりの和菓子を楽しんでみてください。

と しょかんいん き い 図書館員のお気に入り♪

「しろちゃんと はりちゃん あめのいちにち」

たしろ ちさと／作・絵

ひかりのくに 2014年5月 Eタシ



しろうさぎのしろちゃんとはりねずみのはりちゃんはともだちで
す。あめでおでかけできないふたりはおうちでボールあそびをしま
すが、はりちゃんのかびんをしろちゃんがわってしまいます。おこ
るはりちゃんのためにしろちゃんをあめのなか、かびんのかわりを
さがします。ふたりのゆうじょうがわかるこころ なたたまるえほん
絵本です。

こんげつ かみ
今月の紙しばい

どうぶつえん

桂 文我 / 脚本 加藤 休三 / 絵
 童心社 2022年7月 Kド



アルバイトをするために、どうぶつえんにやってきたうめさん。もうじゅうがかりのいけださんによると、^{きょう}今日のうめさんのしごとは「トラになる」こと。トラのきぐるみをきて、^{なか}おりの中を^いあるくように言われますが…。はたして、うまくいくのでしょうか。むかしから^{にんき}人気のあるらくご『動物園』が、^{どうぶつえん}紙しばいに^{かみ}なりました。

なるほど!

いきものまめちしき

じめんに、すりばちのような^{かたち}形のすをつくることで^し知られているアリジゴク。じっさい^みに見たことのある^{ひと}人はいるでしょうか？

こんげつ
 今月は
 アリジゴク
 だよ!

「アリジゴク」は、ウスバカゲロウという^{ちゅう}こん虫の、こども^{じだい}時代(よう虫)のよび名です。たまごからかえったアリジゴクは、はさみのような^{おお}大きなあごですあなをほってかくれ、おちてくる^{ちい}小さなアリをつかまえて^た食べるのです。



アリジゴクのえものは、アリだけではありません。だっぴをくりかえし、^{からだ}体が大きくなると、^{おお}ハエやカメムシなどの^{おお}大きな虫も^{むし}食^たべることができます。